FT-仕様-第 10044 号

2011 年 1 月 17 日

ケーブル・バスダクト貫通部防火措置キット

耐火ブロック工法 「ロクマル大開口キット」用

「補助充填材セット」

仕様書

古河電気工業株式会社

株式会社古河テクノマテリアル

1. 製品概要

本製品は、ケーブル・バスダクト貫通部防火措置キット耐火ブロック工法ロクマル大開口キット(以下、ロクマル)用の補助充填材のセットです。ロクマルに同梱されている補助充填材が不足する場合に使用するものです。

2. 防耐火性能と適用範囲

本製品は、ロクマルに同梱されている補助充填材と同一の材料になります。防耐火性能等の詳細は、ロクマルの仕様書等を参照してください。

3. 品番および構成材料

本製品の品番および構成材料を表-1、図-1 に示します。また、各構成材料の仕様を表-2 に示します。

表-1 構成材料

品番	構成材料	
	補助充填材	取扱説明書 (枚)
TBJ	2 連 (20 個)	1

表-2 各構成材料の仕様

名称	仕様		
補助充填材	用途		耐火ブロック工法ロクマル用の補助充填材です。 耐火ブロックで塞ぎ切れなかった小さな隙間を塞ぐための材料です。
	材質	包装材	ナイロン製不織布
		熱膨張材	グラファイト系熱膨張材
	寸法		1 連:長さ 755mm×幅 70mm×厚さ約 10mm (1 連で補助充填材 10 個分です。)
	膨張開始温度		約 180℃ (300℃以上で顕著に膨張します。)
	膨張倍率		6 倍以上
取扱説明書	内容		本製品の施工要領、注意事項を記載したものです。

4. 包装

本製品の包装仕様を表-3 に示します。

表-3 包装仕様

品番	包装※寸法 (mm)	販売単位 (袋)	質量 (kg)
TBJ	長さ 290×幅 180×厚さ約 10	1	0.1

※ポリ袋(290×180×0.03mm)

5. 注意事項

- 本製品は、ロクマルに同梱されている補助充填材が不足する場合に使用する追加部材です。
- 本製品は、ロクマルに同梱されている補助充填材と同じものです。補助充填材は、耐火ブロックが入らない小さな隙間を塞ぐための部材です。
- 補助充填材は、耐火ブロックと合わせて使用し、「開口部に隙間無く詰める」ことを基本として丁寧に施工してください。
- 本紙に加え、ロクマルの取扱説明書、施工要領書および認定書に記載された認定条件および施工方法をよくお読みいただいた上で正しく施工してください。
- 防水機能はありません。直接雨水等がかかる、常に高湿度になるような場所には使用しないでください。
- 工法表示ラベルのご請求は、ロクマルに同梱されている請求ハガキをご利用ください。

5. その他

- 本書記載の内容は、製品改良等のため、お断りなく変更する場合がありますのでご了承ください。
- 本書の内容を無断で複製、転載することを禁じます。

安全に関するご注意

ご使用の前に必ず、この「安全に関するご注意」をよくお読みいただき、正しくお使いください。ここに示した注意事項は、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。

⚠ 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

◆ 図記号の意味は、次のとおりになっています。

⚠	注意 ： 気をつける必要があることを表しています。
⊘	禁止 ： してはいけないことを表しています。
❗	指示 ： しなければならないことを表しています。

⚠ 警告	⊘	床大開口部施工後は踏み抜きに注意してください。貫通部防火措置部の上に乗ったり重量物を置かないでください。
		子供・幼児の手の届くところに材料部材を置かないでください。
		単心の電力ケーブルが貫通する場合は周囲に鉄系の金具を配置しないでください。
	❗	最大開口面積または直径以下で施工してください。
		ケーブル等の貫通物種類および貫通物占積率は取扱説明書および認定書・評定書に従ってください。
		取扱説明書また認定書・評定書に従って施工してください。
	⚠	貫通部防火措置部の仕上がり時は隙間のできないように施工してください。
		液体状のものを扱う場合は保護めがねを着用してください。
		繊維状または粉状のものを扱う場合はマスクおよび保護めがねを着用してください。
		床または壁貫通部の近傍に可燃物を置かないでください。
⚠ 注意	⚠	耐熱シール材等のパテを扱う際は保護具を着用してください。
		金具を扱う場合は保護具を着用してください。
		特殊な環境下で使用される場合は事前に相談ください。
		材料は貫通部以外の部分に使用しないでください。
	❗	防水性が要求される場合は別途施工してください。
		ケーブルまたは配管類の支持機能はありません。別途固定支持してください。
		施工完了後は工法表示ラベルを表示してください。再施工時も工法表示ラベルを更新してください。

免責事項

（1） 防火区画貫通部防火措置が認定又は評定通りの耐火性能を得るためには、施工品質が大変重要になります。これらを施工するにあたり、認定・評定条件、施工方法をよくご理解いただき、施工者及び建物管理者の責任において施工及び維持管理していただきますようお願い致します。

（2） 以下のような場合において問題が生じた場合、当社として責任を負いかねますのでご了承ください。

① 認定・評定条件以外の施工を行った場合（個別の取り決めに依る仕様は除く）
② 弊社指定以外の材料を使用した場合
③ 本来の使用目的以外に使用した場合
④ 再通線、改修工事などにおいて、不適切な施工により問題が生じた場合
⑤ 「安全に関するご注意」を守らなかった場合
⑥ 適切な維持・管理が行われていない場合
⑦ 通常の経年変化（使用に伴う消耗、磨耗など）や経年劣化、またはこれらに伴うほこりによる仕上がりの変化の場合
⑧ 周辺環境に起因する場合（例えば、酸性・アルカリ性のガス、異常な高温・低温・多湿、結露など）
⑨ 躯体の変形など、製品以外の不具合に起因する場合
⑩ 犬、猫、鳥、鼠、蛇などの小動物・昆虫やツルや根などの植物に起因する場合
⑪ 犯罪、いたずらなどの不法な行為に起因する場合
⑫ 戦争・紛争・天災その他の不可抗力による場合（例えば、暴風、豪雨、高潮、地震、落雷、洪水、地盤沈下、など）
⑬ 実用化されている技術では予測不可能な現象、またはこれが原因による場合

以上

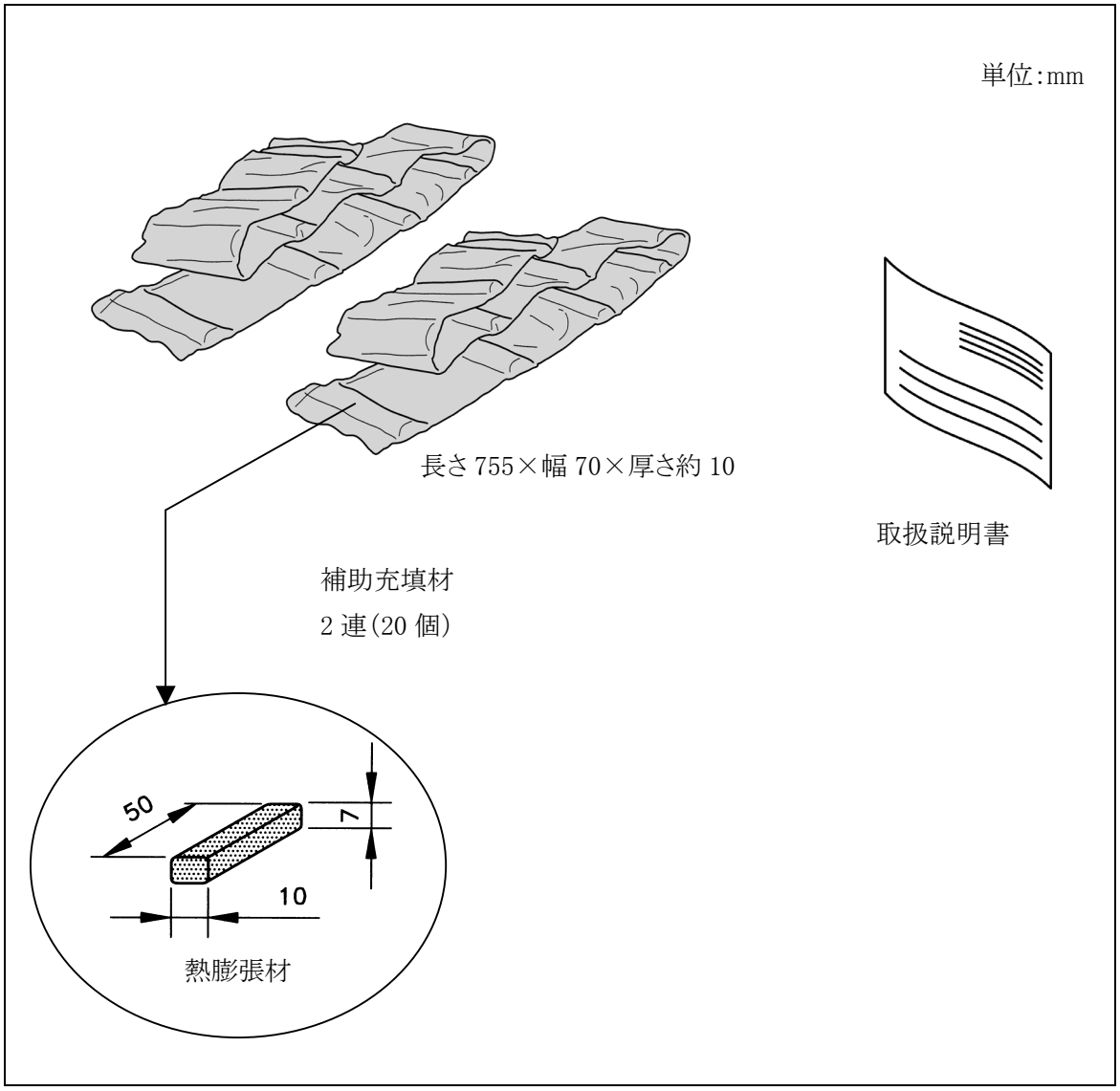

図-1 構成材料一覧